

12 2024/03

AldoNews

いつもお世話になっております。
弊社の実績や技術を知っていただくために月に一度ほどお邪魔いたします。

アルドネット株式会社 とは?

産業系・IoT・DXの分野において、システム企画・開発・政策・コンサルティング業務を行っております。お客様の外部研究機関として気軽に使っていただけのような会社を目指しております。まずはお気軽にお問合せください。

Alldonetについて

不定期で月に一度ほどの発行となりますが、今後配信がご不要であればお手数ではございますが、こちらにご返信またはご連絡をお願いいたします。

アルドネット株式会社

〒550-0005

大阪市西区西本町1丁目13-38西本町新興産ビル422

TEL:06-6536-8783

URL:<https://www.alldonet.com>

カスタマーサポート:

contact@alldonet.com



実際はつぶらな瞳の日本人女性に対応しております。日本語しか話せませんのでご安心してお問い合わせください。

オープンでWin-Winなシステム構築

今回はBluetoothを使ったIoT化、そして独自システムをオープンシステムへと発展させた例をご紹介します。

飛行機などの製造点検でも使用する水平センサーを製造販売されているセンサーメーカー様は、それを専用の表示機とともに販売されていました。しかし今やスマホやタブレットの時代。専用表示機の代わりにタブレットを使うことで、より作りやすく、より使いやすくなるとの考えからご依頼いただきました。

アルドネットはこれらを、オープンシステムに変換することと、通信規格を変えることで解決しました。

まず、点検は飛行機や精密機械等の近くで行われるためBluetooth対応へと規格を変更。Bluetoothはネット接続不要で消費電力も少なく、コストが圧倒的に抑えられるという大きなメリットがあります。センサーもそれに対応できる規格にするべく、ハードウェアも同時進行で開発し、センサーに組み込みました。

そして、小さい液晶画面と操作ボタンの付いた専用デバイスについては、C言語でプログラミングされた専用の無線技術を使っていた様子。代わりに市販のタブレットを利用できるよう、タブレット用のAndroid対応アプリを開発しました。言語はC#等。ミドルウェアを使用し依存性を低くすることで、今後新たに異なるプラットフォームで使用する際にも大きな修正が不要な仕様になりました。

今月のカスタマーサポートのひとつ...先日、ぎっくり腰が例年より増えているというニュースを見ました。寒さで筋肉が緊張し固まっていることで動かしたときにギクッとになってしまうとか。友人がコロナ渦でストレッチをするようになってから調子が良いと言っており、サファもダイエットの一環で家で体操をしています。そんな中飛び込んできたこのニュース。私もやるべきというお告げでしょうか。仕事の合間などに筋肉を解す動きを取り入れていきたいと思えます。

スマホやタブレットで色んなものを集約したい時代の流れに合わせるのは一見大がかりに見えますが、実はプロプライエタリ(独自)システムの方が、規格変更や機能追加などの戦略変更がオープンシステムに比べると後々難しく大がかりになってしまうケースが少なくありません。

プロプライエタリシステムをフルセットで提供すること自体も、専用デバイス製造の必要があるなど実は大きな手間。

今回の場合、核となる貴重な技術はセンサー部分。操作をスマホなどでも対応できるようにすることで、このセンサーの技術のみに集中できる上、オープン規格となってユーザーにも使いやすいものができました。

アルドネットでは、今後の開発を見据えて商品関連のモバイルアプリ作成方法のレクチャーなどの技術提供も行っているため、自社でもアプリ内容の調整ができるようになります。メーカーのシステム部門の技術向上のお手伝いもできますと嬉しいです。

[ミドルウェアを活用したマルチプラットフォーム対応アプリ](#)についてHPにアップしましたのでまた覗いてみてください。

